

令和5年4月臨時会あいさつ

皆さま、おはようございます。

本日ここに、久山町議会「4月臨時会」を招集いたしましたところ、議員の皆さまにご出席を賜り、誠にありがとうございます。

町内では、葉桜とともに新芽が顔を出し、豊かな新緑が眩しい季節となりました。心癒やされる風景が鮮やかに目に映ります。

同時に、新しい季節に向けた力強さを感じられる季節でもあります。

さて、ここ数年間続いた新型コロナウイルス感染症も、いよいよ、来月5月8日から、感染法上、「5類」に引き下げられる予定です。

これにより、社会では、さまざまな行動制限が緩和されはじめ、コロナ禍前の活動が戻りつつあります。

本町においても、先日、4年ぶりに「伊野天照皇大神宮武道大会」が開催され、町内外から約500名の方が参加されました。

また、文化活動においても、第18回「櫻祭」が開催されるなど、多くの方が顔と顔を合わせ、笑顔溢れる、久しぶりの賑わいとなりました。

コロナ禍の影響により加速した、人と人との交流の希薄化が、多くのメディアで問題視されており、今後はその対応が自治体に求められています。

本町では、令和5年度当初予算において、いち早くその課題の解決につながる事業を幅広く実施していくことを予定しております。

その中の1つに、シニア世代の皆さまの外出、交流のきっかけづくりとして、年度当初から開始した「シニアチャレンジ応援事業」があります。

すでに多くの方に申請をいただいております、当初予定していた1.8倍、約730名にクーポンを発行いたしております。

この結果は、町民の皆さまの関心の高さを意味するものと捉えています。

今後も、国の物価高騰に関わる追加対策などに迅速に対応しながら、町民の皆さまのニーズを反映した、独自のソフト事業を展開してまいります。

引き続き、議会の皆さまのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

今回、4月臨時会に提案いたしますのは、専決処分の承認の案件を含めた3議案でございます。

ご審議の上、可決いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和5年4月27日
久山町長 西村 勝